

3 年経営計画 (2021~2023年度)

あなたとともに あなたのために

一般財団法人 日本放送協会共済会



会員主義に立脚した互助会として、 より親しまれ、かけがえのない福利厚生団体を目指します

〈基本方針〉 ～3つの重点方針～

1. 会員のニーズに沿った事業展開

- 会員の意向・要望等を集約し、効果的で迅速な情報提供により利便性の高いサービスを提供します
- 会員の「新しい生活様式の実現」に資する、多角的な会員対応、サービスの導入を推進します
- 退職者および各関連団体役職員に対する事業展開の強化により、一般会計の収益向上を図ります

2. NHKの諸改革に資する事業運営

- NHKの福利厚生の方針に沿った受託業務の今日的なありようについて検討します
- NHKの地域改革に資する本部および支部による「支所業務の集約」を実現します
- NHKの健康経営に資するサービスの深化を図ります
- 非常災害時におけるグループの一員としての役割を果たします

3. 人材と組織のマネジメント変革

- 業務全般の見直しによる要員効率化を図り、“スリムで強靱な組織”を実現します
- 本部食堂の抜本的な構造改革を断行します
- 職員の新しい生活様式、多様な働き方の実現を目指した「働き方改革」を推進します
- 職員教育の徹底による業務の生産性向上、課題解決力の強化を図ります
- 継続的なガバナンス強化と環境経営の推進を図ります

1. 会員のニーズに沿った事業展開

時代に即した福利厚生のあるあり方を今日的・多角的な視点で捉えた事業を展開することにより、サービスの深化を図るとともに会員のニーズに応じていきます。

① 会員の意向・要望等を集約し、効果的で迅速な情報提供により利便性の高いサービスを提供します

- ◆ 共済会ポータルサイト「KYOSAINET」による「アンケート調査」を適宜実施し、時代により変化する会員ニーズの把握に努めます。
- ◆ メールマガジンの発行等により、会員にとって有益な情報を迅速に提供します。

② 会員の「新しい生活様式の実現」に資する、多角的な会員対応、サービスの導入を推進します

- ◆ 時間や場所にとらわれない会員対応を実現するため、「オンライン相談ツール」の拡充を図るとともに、いつでもアクセス可能なチャットアプリなどの導入を進めます。
- ◆ 「採用・異動・退職」など会員のライフイベントに合わせた共済会事業の説明動画を作成し、そのアーカイブス化を図るなど、常時Webで閲覧可能な仕組みを構築します。

③ 退職者および各関連団体役職員に対する事業展開の強化により、一般会計の収益向上を図ります

- ◆ 退職者および関連団体役職員に対する事業展開を強化し、NHKグループのスケールメリットを活かしたサービス等の利用率を高めることで一般会計の収益向上を図り、会員の利益に寄与します。
- ◆ グループで働く皆さんの利便性の向上を図るため、各関連団体と連携を強化します。

2. NHKの諸改革に資する事業運営

受託業務のありようについて検討するとともに様々な取り組みを進め、NHKグループの一員としてNHKの進める諸改革に寄与し、会員およびNHKに対する側面支援の役割も果たします。

① NHKの福利厚生の方針に沿った受託業務の今日的なありようについて検討します

- ◆ 互助会制度である給付金等のありようについてNHKの方針を踏まえ、確実な対応を行っていきます。
- ◆ 世代を問わずより多くの会員にとって有益となる生涯生活設計業務や、住宅取得に関する総合的な支援のありようについてNHK所管部局と検討します。

② NHKの地域改革に資する本部および支部による「支所業務の集約」を実現します

- ◆ NHK各局企画編成部の業務負荷軽減に寄与するため、地域局会員の利便性を低下させることなく、共済会の支所業務を本部および支部へ集約します。

③ NHKの健康経営に資するサービスの深化を図ります

- ◆ 健康に資する要素を含む栄養バランスがとれた「スマートミール」の提供が可能な食堂を順次拡大していきます。
- ◆ 糖質オフ・カロリーオフなど、健康を意識した飲料をラインアップする自動販売機を全国的に導入します。

④ 非常災害時におけるグループの一員としての役割を果たします

- ◆ 事業継続計画（BCP）を不断に見直し、首都直下型地震の発生や新型コロナウイルスの蔓延時にも業務継続可能となる体制を整備します。
- ◆ NHKと連動した災害対策訓練を実施するなど、緊急報道時におけるロジスティクス面での支援体制を強化します。

3. 人材と組織のマネジメント変革

福利厚生の特長集団としてこれからも会員の信頼に応え続けるため、“スリムで強靱な組織”づくりを実現するとともに、職員個々がやりがいをもって働ける職場環境を構築します。

① 業務全般の見直しによる要員効率化を図り、“スリムで強靱な組織”を実現します

- ◆ 業務の「選択と集中」実施による、集約可能な業務の一本化と重点業務への資源投資を図ります。
- ◆ 限られた経営資源をより効率的に運用していくため、組織改正による指揮命令系統の簡素化を図ります。
- ◆ 収益性の低い業務の廃止等による経営基盤の安定化を図ります。

② 本部食堂の抜本的な構造改革を断行します

- ◆ “安全・安心”の営業理念の堅持を前提としつつ、情報棟の運用開始予定である2025年度を見据え、営業時間・提供メニューを含めた抜本的な運営体制の再構築を図り、構造改革を断行します。

③ 職員の新しい生活様式、多様な働き方の実現を目指した「働き方改革」を推進します

- ◆ 事務全般のデジタル化・効率化を推進し、リモートワークの実現・定着を図ります。
- ◆ 定年延長制度の検討や改正女性活躍推進法対応など、時代に即した職員制度の見直しを行います。

④ 職員教育の徹底による業務の生産性向上、課題解決力の強化を図ります

- ◆ ジョブローテーションの確立により、次世代を担う課題解決力の高い職員の育成に努めます。
- ◆ 資格取得支援の強化により職員の専門性やマネジメント能力を高め、より信頼される福利厚生の特長集団を目指します。

⑤ 継続的なガバナンス強化と環境経営の推進を図ります

- ◆ NHKグループの一員として、コンプライアンス、リスクマネジメントの更なる強化・徹底に努めます。
- ◆ 「構成管理」に適切に対応し、ネットワーク・インフラ全般の情報セキュリティ対策を徹底します。
- ◆ ペーパーレス化や節電対策など、環境経営を意識した取り組みを継続的に推進します。